

## 活動の記録

### 12月9日(日)曇

参加会員は新井夫妻、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我、栗山、坂本、田島、中田夫妻と子供たち(夏実、裕志、朱音、千晴)成沢、根本、福島、真鍋、松田の21名に体験参加の色川さんが加わり合計22名。

12月の活動日は紅葉の見納め時期に合わせて、通常の第3日曜では無く、時期をずらして設定されています。今年は秋が長かったものの、流石に9日になると紅葉の最盛期は過ぎ去った感がありましたが、それでも名残の彩りが多少は楽しめたと思います。

今回はシカ調査など人手を要する案件があったので、何人集まるか気がかりでしたが、多人数の参加があり、シカ調査など森の活動班と島外農地の作業班に分けて同時並行で取り組めました。

また、年末でもあり日頃お世話になっている地元の方々とのお付き合いが円滑に保てる様、伊藤事務局長と共に鎌田屋さんと農地の地主さん宅へ挨拶に伺いました。手土産は坂本の手作りコンニャクですから、会からの負担はありませんし、市販のお菓子などより印象に残ると思います。両家とも珍しいと喜んで受け取ってくださいました。

何はともあれ、無事に今年の活動を終わられて何よりでした。来年は助成金の申請が通れば更に多彩な活動が待っています。会員皆様の活躍を期待します。(坂本代表)



### 〇ニホンジカ生息状況調査

最初の活動として、ニホンジカ生息状況調査を行いました。この調査は、3か月ごとに年4回実施している調査で、今回は2018年度の3回目になります。

10:20スタートで、島内を7コースに分けて一斉に踏査を行いシカの生息状況を調査しました。前回の



調査出発前の打ち合わせ



コースNo.4 班は急斜面を下り

9月の調査では、最大5頭の目撃がありましたが、今回はシカの目撃はありませんでした。痕跡としては、フンが数箇所確認され、頻度としては低いものの、シカは冬期も島を利用しているようです。(福島)

## ○巨木林成長調査

シカの調査のあと、巨木林エリアの植生保護柵内に設定した調査地で、樹木の成長調査を行いました。この調査は、2008年から毎年この時期に行っており、今回は11回目になります。大まかな傾向として、直径成長が大きいのは、コナラ、サクラ類の直径が大きい個体です。一方で、直径が小さくても成長しているのは、モミヤアラカシなどの常緑樹であり、やや暗い所でも成長できるものでした。現在は、落葉広葉樹林から落葉樹と常緑樹が混交した森に移行している途中と考えられます。(福島)



計測係と記録係の声が威勢よく響き

## ○アナグマの巣? センサーカメラ再設置

10月の活動時に動物が掘ったと思われる深い穴を発見しました。その場所で11月の活動日に新たに設置したセンサーカメラの画像を今回、回収したところ、残念ながら機械の不具合なのか写真は撮れていませんでした。

今回は、福島さん、色川さんと3人でセンサーカメラを再設置しました。端子の接触具合の調整に1時間弱を要しましたが、シャッターが切れるのを確認出来たので、とりあえず一安心。

果たしてアナグマは撮れるのでしょうか? そもそもアナグマの巣なのか? 次回のデータ回収が楽しみです! (成沢)



苦戦してセンサーカメラ調整

## ○昆虫観察記録

冬将軍到来、森の落葉樹ははらはらと葉を落としシーンとした静けさ。この寒さの中、森の中をヒラヒラと蛾が飛んでいたのですが、お気づきになられたでしょうか。冬にだけ現れるフユシャクの仲間、クロスジフユエダシャクです。オスはメスを求めて風間にヒラヒラと飛びますが、メスは翅が退化して飛ぶことができません。冬はコタツで丸まっている私にとって、冬を物ともしないこの蛾の生き方は、すごいとしか言いようがありません。フユシャクを見ると、私は「冬が来たな」、「冬もいいな」と思います。

今回も、枝を叩いて1時間ほど虫探しをしました。数ミリの小さなクモの幼体がたくさん落ちてきて、昆虫よりクモの多さに驚きます。クモが多いということは、エサである昆虫が多いということであり、改めて森の豊かさに気づかされます。これらは、鳥たちの冬の良いごちそうになることでしょう。

### (枝をたたいて落ちてきた昆虫とクモ)

ミヤマアワフキの一種、マダラアラゲサルハムシ、アミメアリ、オオハナアブ、クロアシボソケバエ、アザミウマの一種、ゴマフリドクガ幼虫、マネキグモ、オナガグモ、ホシミドリヒメグモ、ユノハマサラグモ、オオシロカネグモ、アシナガグモ、ウロコアシナガグモ、サガオニグモ、ギンメッキゴミグモ、アサヒエビグモ、イボカニグモ、ワカバグモ、セマルトラフカニグモ、ネコグモ (田島)



クロスジフユエダシャク



エサキモンキツノカメムシ



ゴマフリドクガ幼虫



サガオニグモ幼体

## ○島外農地にウドの植え付け

農地での作業は大原、苅米、久我、坂本、根本の5名で前回やり残した雑草刈りと、ウド苗の植え付け、排水管の設置をしました。ウドは風味の強い山菜として人気がありますが、あまり一般的な作物ではありません。しかし、この辺りにも自生しているので、気候風土に適している筈ですし、何より放任でも育つ逞しさが、月に一度しか来れない者には魅力です。

ただし、シカの食害がどの程度のものか、やって見なければわかりません。

今回植えたのは2列で約60株です。来年は木を茂らせて、芽数を増やすことに専念し、収穫するのは再来年の春です。更に来春までに山菜系の作物を中心に何種か植えつきたいと思います。乞うご期待（坂本）



排水管設置作業

## ○千年の森を家族みんなで楽しみました

12月9日、千年の森の活動に家族6名で参加してきました。

最初は、鹿調査や樹木の成長の測定、植物観察、落ち葉かき、それにお昼は会員の方々が自分で育てた作物を持ち寄った洋風鍋（ポトフ）パーティー。（島内は火気は禁止されているので、鍋パーティーは島外で実施されました。）キノコ観察会以外での参加は久しぶりでしたが、家族全員楽しい充実した1日を過ごさせていただきました。

子供たちに、何が楽しかったか聞くと、5年生と高2の娘たちは「落ち葉掻きとポトフパーティー!」とのこと。中1の息子は、「きのこ観察!」とのこと。それぞれに楽しんだようです。

落ち葉掻き、子供たちが楽しそうにやっている様子を見ると昔の里山の風景がしのばれました。メンバーの方が実際子供時代にやった方法も教えてくださいましたのもよかったです。

そして今回私が感動したのは、巨木調査と「シャシャンボ」の木の実。夫が感動したのはアナグマの巣でした。

巨木調査は、毎年1回調査エリアで大木の樹形を測るというもの。伐採された場所で自然に発芽して同時に成長を始めた木々が明らかに成長の違いが出ているのが興味深かったです。



シャシャンボの実

特に成長が早さが目立ったのが、ヤマザクラ。ほかの樹木に比べて段違いに成長が早いのに驚きました。ヤマザクラは寿命も長いとのこと。そして、「シャシャンボ」。この木の実は、いわば国産ブルーベリー。（ブルーベリーと同じツツジの仲。）食べてみると、酸っぱい中にほのかな甘みがありました。

そして夫の一番感動は、アナグマの巣。入り口が人が入れそうなほど巨大でびっくりでした！（中田真也子さんのFace Bookから一部転載）



シカ調査は急斜面の難コース



楽しかった落葉掻き



アナグマの巣?の巨大な入口



ウチダシミヤマシキミ



ヤブムラサキ



ガマズミ



シャシャンボ



シャシャンボの実は甘い?

## ○ポトフで身も心もポカポカ

寒い日でしたが、松田さんの陣頭指揮で、ソーセージ、野菜類、キノコ類がふんだんに入った洋風のポトフを鍋いっぱいに作りました。ニホンジカ調査、島外農地の草刈りなどで体を動かした後のためか、あっという間にたいらげて参加者一同、大満足の昼食となりました。ごちそうさまでした。(伊藤)

次回定例活動日1月20日昼食のシェフとメニューの希望を募集します。希望者はお申し出ください。



## ○アオバトの羽根

シカの調査から帰る途中、入江付近で鳥の羽根が散らばっているのを見つけました。キジバトが何かに食べられた状況とよく似ていましたが、羽根がキジバトのものではありませんでした。

もしやと思い、風切羽と緑色の羽根を回収して坂本さんに 見せたところ、アオバトの羽根と教えていただきました。(福島)



アオバトの羽根

## ○野鳥の話題

福島さんが島内で珍しい鳥の羽根を拾ったと言って、見せてくれました。風切り羽は特徴の無い黒でしたが、他の部分の羽毛は緑色で綺麗でした。この色合いと、大きさからアオバトに間違いのないと思いました。アオバトは森林にすむ緑色のハトで大きさは普通のハトと変わりません。房総半島では稀に声を聞く程度で、かなり珍しい鳥です。豊英島の記録に1種増えました。

昼食後、島に戻る吊り橋の上で水面から飛び立ち、何回も旋回している鳥の群れを見ました。その数約50羽、短くクエツと言う声も聞こえましたから、オシドリの群れだと思います。藪陰に潜んでいるところに釣り人のボートが近付いたので飛び立ったのでしょうか。(坂本)



(参考)アオバト大磯



(参考)オシドリ泉自然公園

## ○獅子ゆずのマーマレード



苺米果樹園の獅子ゆず

苺米さんから大きな獅子ゆずをいただきました。真鍋さんに、「マーマレードを作るとおいしいよ」と言われ、チャレンジしてみました。ゆずを包丁で切ってみると、芥子粒のような虫が5~6匹動いています。調べてみるとヒメヒラタケシキスイという甲虫で、柑橘類の花を食べ、実の中で冬を越すようです。虫の観察を終えて、さて、マーマレード作りにとりかかります。皮をきざみ重曹を入れたお湯でゆで、皮と果肉とグラニュー糖を鍋でコトコトと煮て、最後にハチミツで仕上げました。ちょっぴりほろ苦くて、おいしい！スプーンですくっては、ついつい食べ過ぎてしまいました。虫の入っているユズ、私にとっては超貴重な一級品でした。ありがとうございました。(田島)



ヒメヒラタケシキスイ

## お知らせ

### ○今後の活動日

1月20日（日） 9時30分 君津市清和自然休養村管理センター集合。ホテイ岬地区整備 シカ防護柵設置、植物・野鳥・昆虫調査など。

2月17日（日） 9時30分 君津市清和自然休養村管理センター集合。光環境調査（冬季）、ホテイ岬地区整備、植物、野鳥、昆虫調査など。

3月17日（日） 9時30分 君津市清和自然休養村管理センター集合。ニホンジカ個体数調査、ヒメコマツ成長状況調査（樹高、直径計測）、ホテイ岬地区整備、植物・野鳥・昆虫調査など。